

そよかぜ

第49号

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

神戸市立 西神戸医療センターの基本理念

神戸西地域に根づいた
安心・安全な医療をめざします

発行日/令和元年 8月

編集人/総務課長 奥田 高大

<http://nmc.kcho.jp/>

神戸市立西神戸医療センター

検索

〒651-2273 神戸市西区糀台5丁目7番地1
TEL: 078-997-2200 (代表)



「副院長就任のご挨拶」

4月1日より、神戸市民病院機構神戸市立西神戸医療センター副院長に就任いたしました伊地智和子です。どうぞよろしくお願ひします。

私は2000年7月より麻酔科医として当院で、勤務して参りました。手術室と集中治療室が主な職場で、勤務の大半は手術の麻酔管理です。主治医として患者さんやご家族と関わる他科の診療科の先生方とは異なり、麻酔科医は主治医にはなりません。手術前に麻酔科診察に伺い、術後、“いかがですか？”と診察に伺うのが通常のお患者さんとの関わり方です。このように手術前と後の患者さんとの関わりは短いですが、手術中は違います。常にベッドサイドで患者さんの手術が安全に施行され、また患者さんへの侵襲が出来るだけ軽くなるよう、さらに術後の痛みや嘔気嘔吐などの患者さんの苦痛をできるだけ軽くするよう努め、患者さんの早期回復を目指しております。手術中の患者さんとの関わりはたいへん濃厚です。通常一日に2~3例の麻酔を担当するので、関わらせていただいた患者さんの数は非常に多いです。また、当院では手術支援ロボットによる低侵襲手術症例が増えており、麻酔科医も新しい手術術式に合った麻酔を行っております。

このように患者さんとの関わり方は他科の先生方とは少し異なりますが、神戸西地域に根づいた市民病院の一員として働いて参りました。令和に改元された今年度からは麻酔科医として安心・安全な医療をめざすだけでなく、患者さんや地域の皆様と新しい関わり方が出来るのではと考えております。今後とも、ご指導、ご支援よろしくお願ひします。



副院長
伊地智 和子